

第5次福井県保健医療計画に定める数値目標の状況

区分	項目	平成24年度末までの目標数値	平成20年度末の状況
がん	がん検診受診率	50%超	延443千人
	5大がんに関する地域連携クリティカルパスを整備	全ての拠点病院	連携パスを作成中
脳卒中	ガイドラインに基づくt-pA治療が可能な医療機関	各医療圏に1箇所以上	各医療圏に1箇所以上
	地域連携クリティカルパス実施医療機関	10箇所以上	8箇所で開催
急性心筋梗塞	AED取扱いを含む救急蘇生法講習会受講者数(20年度～24年度)	延10万人	延3万9千人
	地域連携クリティカルパス実施医療機関	5箇所以上	連携パスを作成
糖尿病	地域連携クリティカルパス実施医療機関	10箇所以上	連携パスを作成中
	糖尿病に関する専門知識を有する医療従事者数	10%以上増	6%増(対20年3月)
小児医療	#8000子ども医療電話相談事業件数	20%以上増	50%増(対19年度)
	時間外に小児輪番制当番病院を受診した入院の必要ない患者の割合	90%以下	93.30%
産科医療	周産期死亡率	全国10位以内	全国15位
救急医療	救急搬送所要時間	全国10位以内	全国4位
	AED取扱いを含む救急蘇生法講習会受講者数(20年度～24年度)	延10万人	延3万9千人
災害時医療	DMATチーム数	8チーム	11チーム
へき地医療	無医地区への巡回診療数	200回以上	201回
在宅医療	在宅医療推進のためのコーディネーター数	5箇所	2箇所

第5次福井県保健医療計画の取組

	項目	取組事項	平成20年度
			具体的な取り組み内容
医療連携	医療の役割分担と連携	医療機関の役割分担の普及・啓発	地域連携クリティカルパスの開発と普及 脳卒中：8病院で運用中 急性心筋梗塞：21年度より運用予定 糖尿病：21年度作成予定 がん：検討中
		かかりつけ医・かかりつけ歯科医の普及・啓発	平成21年3月末から、全ての医療機関の医療機能を県のホームページにて紹介するシステム開始 病院 78施設 診療所 547施設 歯科診療所 275施設 助産所 20施設
		医療機関の連携	医療機関同士が、各医療機関の医療機能情報を共有化するシステムを開発（各医療機関での入院受入の可能な患者の状態 等）
		医療機関の連携機器整備	電子カルテシステム、遠隔画像診断システムに係る整備費支援（国庫補助の活用）
		施設・設備整備の支援	・急性心筋梗塞医療向上のため、福井赤十字病院の体外式心肺補助装置整備 ・脳卒中医療向上のため、福井社会保険病院の手術用顕微鏡整備 ・がん医療向上のため、福井県済生会病院の院放射線照射治療機器 ・福井市西部の医療体制確保のため、福井総合病院の新築移転工事 ・災害医療の確保のため、災害派遣医療チームの設備整備
4疾病と5事業	がん	生活習慣の改善、がん予防意識の普及啓発およびがん検診体制の充実・強化	がん検診の受診促進のため ・市町、JA、商工会による未受診者に対する受診勧奨の実施 ・ショッピングセンター等において「出前がん検診」の実施 ・がん検診推進医の設置
		がん医療推進センターの整備	平成21年2月に県立病院内に「がん医療センター」を設置。患者数の最も多い胃がんについて専門外来を設けたほか、抗がん剤治療を専門に行う「血液・腫瘍内科」およびがん診療病棟を設置
		陽子線がん治療施設の整備	平成23年3月の運用開始に向けて、施設利用促進のためのPR活動を実施
		がん診療連携拠点病院の機能強化	がん診療連携拠点病院（県内5病院）による協議会で検討 ・がん登録の推進、緩和ケア研修、医療連携に関する取り組みを協議
		地域がん医療水準の向上	5大がんに関する地域連携クリティカルパス作成のためのワーキンググループを設置
		医師・看護師等の人材確保・養成	国立がんセンター等への医療従事者の派遣研修 医学物理士の養成

	項目	取組事項	平成20年度
			具体的な取り組み内容
4 疾病 と 5 事業	がん	がん登録の向上	がん患者の生存率について、一定の公表基準を定め、各診療連携拠点病院のホームページにて掲載することを検討
		医療情報の提供推進および相談支援体制の整備	各診療連携拠点病院にて ・セカンドオピニオン受診体制の整備 ・医療実績や専門的ながん診療を行う医師の情報提供実施 ・患者や家族からの相談体制の整備
		緩和医療の推進	各診療連携拠点病院において医師に対する緩和ケア研修会を実施
	脳卒中	早期治療への意識啓発	日本脳卒中協会の福井県支部による啓発 (21年度内に福井大学医学部に支部設置の予定)
		救急搬送体制構築	・平成21年1月から各地域のメディカルコントロール協議会において、各消防機関に対して、脳卒中患者の救急搬送の現状と課題について確認
		急性期病院の治療水準向上	福井社会保険病院において手術用顕微鏡整備(再掲)
		医療連携の強化	平成20年4月から地域連携クリティカルパスの運用開始(再掲)
	急性心筋梗塞	AED普及と救急蘇生法講習強化	AED普及のための講習会開催
		医療機関の交流促進	地域連携クリティカルパスの運用開始にあたり、医療機関を対象に説明会実施予定
		医療機関の連携強化	県内急性期病院を中心に、県統一型の地域連携クリティカルパスを作成(再掲)
	糖尿病	発症予防の啓発活動	糖尿病予防研修講座の開催
		医療従事者の専門性強化	福井糖尿病療養指導担当者教育講習会の開催 メタボリック健診普及事業
		診療所と病院の連携強化	地域連携クリティカルパスの開発(再掲) (県の検討部会において専門医により素案取りまとめ中)
	小児医療	小児科医の確保	総合的な医師確保事業の実施(後掲)
		小児救急医療の情報発信	母子手帳用のリーフレットを作成し、#8000の啓発を行うとともに、小児救急輪番制についても広報を実施
		医療を受ける側の意識啓発	救急医療の適正化について、広報を実施(#8000リーフレットの活用、マスコミへの周知)
小児医療体制の充実		国庫補助の増額に対応した各病院支援額の増加	

	項目	取組事項	平成20年度
			具体的な取り組み内容
4疾病 と 5事業	産科医療	産科医師確保	総合的な医師確保事業の実施（後掲）
		ハイリスク分娩受入体制の安定的確保	周産期医療協議会で安定的な受入体制を協議 福井大学附属病院でNICUの増床を検討
		妊婦健診受診促進	21年1月27日以降の健診は原則無料化
		かかりつけ医と周産期母子医療センターの連携継続	周産期医療協議会で安定的な受入体制を協議
	救急医療	救急と医療の連携	地域メディカルコントロール協議会で救急搬送事例検討
		救急蘇生法の普及	AED普及のための講習会開催
		広域災害・救急医療システムの適切な運用	地域メディカルコントロール協議会において運用を働きかけ 消防機関の運用状況 補完的に活用 2 活用が少ない 7
	災害時医療	DMA Tによる災害時医療体制充実	DMAT運営要綱の策定、医療機関との協定の締結 総合防災訓練等の研修、訓練の機会の確保
		被ばく医療従事者の育成	初期被ばく医療従事者研修を開催
		被ばく医療マニュアル作成	県内関係者による被ばく医療ネットワーク検討会で、被ばく医療マニュアルについて検討
	へき地医療	医師確保の支援	総合的な医師確保事業の実施（後掲）
		へき地医療従事医師の養成	県立病院による総合医を養成する研修コースの実施（後掲）
		巡回診療の実施	無医地区等への巡回診療の実施
		へき地の診療支援	へき地支援計画の策定・実施
		済生会病院と南越前町河野診療所の間で遠隔放射線画像診断システムを整備	
		無医地区等の巡回診療の実施およびへき地診療所への代診医の派遣	
在宅医療	チームによる在宅医療体制確保 多職種スタッフの連携推進	・在宅医療コーディネーターを県内2地区に設置 （坂井地区医師会、社会保険高浜病院）	
	在宅医療技術の向上 在宅医療への意識啓発	・福井健康福祉センターにおいて、モデル的に在宅医療体制充実のための具体策の検討	